

## 「リメンバー・ミー～わたしを思い出してください～」

イエス様が十字架にかけられた時に左右に二人の罪人も十字架に架けられました。その時に一人の罪人が「イエスよ、あなたが御国へ行かれるときには、私を思い出してください。」と願います。

するとイエスは、「よく言っておくが、あなたは今日私と一緒に楽園にいる」と応えられます。(ルカ 23:42-43)

教会暦の最後の1ヶ月である11月は死者の月と呼ばれます。11月1日の諸聖徒日の祝日はこの地上の生涯を終えられたすべての聖人を覚えて、2日は諸魂日の小祝日はすべての逝去者を覚えます。教会は毎年この時期に逝去者記念礼拝を行い教会関係者すべての逝去者の名前を呼んでお祈りをします。

そして、教会の墓地で礼拝を行います。北海道教区では寒くなる8月のお盆、初秋9月に行う教会が多いようです。私は今年の8月に家族で両親がいる北海道深川に帰省したのですが、ちょうど聖公会深川聖三一教会の墓参の礼拝があり、弟や祖父母らが埋骨されている墓で祈ることが出来たことは嬉しかったです。

なかなか普段は遠方にいるので墓参りも行けないのが現状です。

11月の死者の月になると決まって思い出す映画があります。タイトルは『リメンバー・ミー』です。2017年に公開されたディズニーアニメーションです。皆さんもご存じの方もたくさんいらっしゃると思います。

ミュージシャンを夢見るギターの天才少年ミゲル。しかし彼の一族は、ある理由で代々音楽を禁じられていました。ある日、ミゲルは先祖たちのいる「死者の国」に迷い込む。そこで会った陽気なガイコツと共に不思議な冒険をすることになるのですが・・・

この映画は、メキシコの伝統的な祭礼行事“死者の日”を中心に、時を超えた何世代もの家族

を描いた感動作です。人が本当に死ぬのは、人々から忘れ去られた時。つまり、愛する人の記憶を留めている限り、その人は心の中に行き続けるのです。(WEBサイトより引用)地上の生涯を生きることを神さまに赦されている者の使命は地上の生涯を終えられて御国へと旅立たれた方の名前を呼んで覚えることです。存在を忘れられてしまうことはとても悲しいことです。

名前を覚え続けていくことによって私たちはいつも共にいることを確認出来るのです。イエス様が私たち一人一人の名を呼び、覚えてくださっている事は何という恵みなのでしょうか。

神さまがお取りしきりになる御国が到来する時にすべての人が蘇り再び相まみえることが出来る希望を確認し、また1年の収穫の恵みに感謝し、新たな気持ちでアドヴェントを迎えるべきだと思います。(司祭 越山哲也)

